

2020年11月10日

各 位

フィンテック グローバル株式会社  
代表取締役社長 玉井 信光  
(コード番号：8789 東証マザーズ)

問合せ先：取締役副社長 上席執行役員 鷺本 晴吾  
電話番号：(050) 5864-3978

### 特別損失の計上（個別決算）に関するお知らせ

当社は、2020年9月期個別決算において、下記のとおり、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。なお、連結の範囲に含まれている㈱ムーミン物語やメッツァ2号投資有限責任組合等の株式または出資持分に係る評価損については、連結上は消去されるため、連結決算における影響はありません。

#### 1. 特別損失の計上について

##### (1) 関係会社株式評価損

個別決算において、新型コロナウイルス感染症拡大によるムーミンバレーパークの臨時休園などにより財政状態が悪化した当社の子会社㈱ムーミン物語の株式について、実質価額が著しく低下したため962百万円減損処理し、また同様にコロナ禍の影響を受けた子会社及びその他の子会社の株式について142百万円減損処理いたしました。その結果、関係会社株式評価損を1,104百万円計上いたしました。

##### (2) 関係会社出資金評価損

当社は、㈱ムーミン物語株式を保有するメッツァ2号投資事業有限責任組合に出資しておりますが、(1)と同様の理由により、同組合への出資分について減損処理した結果、個別決算において関係会社出資金評価損513百万円を計上いたしました。

#### 3. 業績に与える影響及び今後の見通し

上記の特別損失の合計1,617百万円のうち、連結の範囲に含まれている㈱ムーミン物語やメッツァ2号投資有限責任組合等の株式または出資分に係る評価損(合計1,576百万円)については、連結上は消去されるため、連結決算における影響はありません。連結決算への影響の詳細は、本日付「特別利益及び特別損失の計上（連結決算）に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、㈱ムーミン物語の株式については、コロナ禍により同社の財政状態が悪化したため、「金融商品に関する会計基準」に基づいて減損処理しておりますが、同社の事業は、2019年3月のムーミンバレーパーク開業までは先行投資負担が重かったものの、開業以降は運営によるキャッシュ・フローを獲得するフェーズに入っております。また、その子会社のライセンス事業を行う㈱ライツ・アンド・ブランズは、ムーミンバレーパーク開業や原画展等によってムーミンへの注目度が高まっていることを背景に、コロナ禍にもかかわらず2019年10月～2020年9月の業績は増

収増益となっており、この傾向は継続していくと考えております。

両社は中長期には安定的な収益基盤を保持していることから、コロナ禍の収束後には、㈱ムーミン物語が本来の収益力を取り戻すことで、同社の企業価値も徐々に回復していくと考えております。

以 上